

(3)草津市の自殺未遂者の状況(自殺対策にて管理ケースの状況)

資料2-②

①自殺未遂者支援

▶実施内容

自殺未遂者が自殺未遂に至った原因や背景等について情報収集し、リスクアセスメントを行い、関係機関と連携しながら支援体制を整える。

▶連絡経路

(1) 湖南いのちサポート相談事業(保健所事業)ケース

自殺未遂により、県内救急告示病院を受診した本人または家族に、病院で同意をとり、保健所を通じて市(自殺対策担当)に連絡が入る。

(2) その他関係機関から連絡のあったケース

関係機関が把握した自殺未遂者や、自殺念慮があり支援が困難なケースについて、関係機関から支援について相談の連絡が入る。

○主な関係機関

- ・市: 家庭児童相談室、子育て相談センター、児童生徒支援課、障害福祉課、発達支援センター、生活支援課
人とくらしのサポートセンター等
- ・県: 草津保健所、精神保健福祉センター、発達障害者支援センター等
- ・医療機関等: 病院、診療所、訪問看護ステーション
- ・福祉サービス事業所: 相談支援事業所、作業所、ヘルパー事業所等
- ・その他: 働き暮らし応援センターりらく等

②自殺未遂者支援から把握した未遂者(新規ケース)の状況(H27. 4~R4. 10) (人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 (4~10月)	合計	(再掲)湖南 いのちサポー ト相談事業 ケース
男性	2	9	5	6	9	6	7	6	50	29
女性	9	9	10	8	9	11	9	8	73	45
合計	11	18	15	14	18	17	16	14	123	74

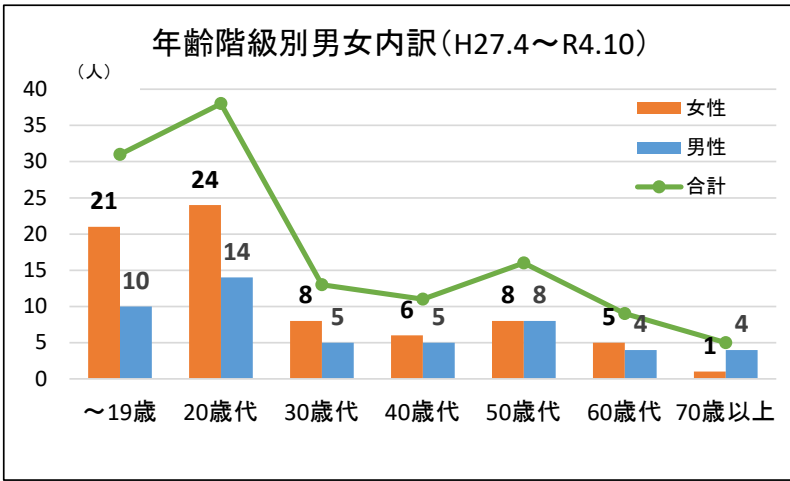
○新規未遂者ケースの把握経路

【令和3年度】

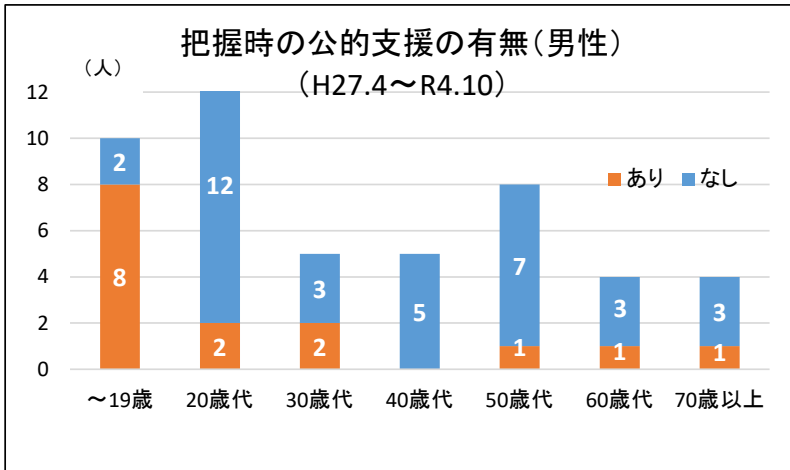
- ・ 湖南いのちサポート相談事業(草津保健所)・・・12件
- ・ 家庭児童相談室・・・2件
- ・ 障害福祉課・・・1件
- ・ 生活支援課・・・1件

【令和4年度】

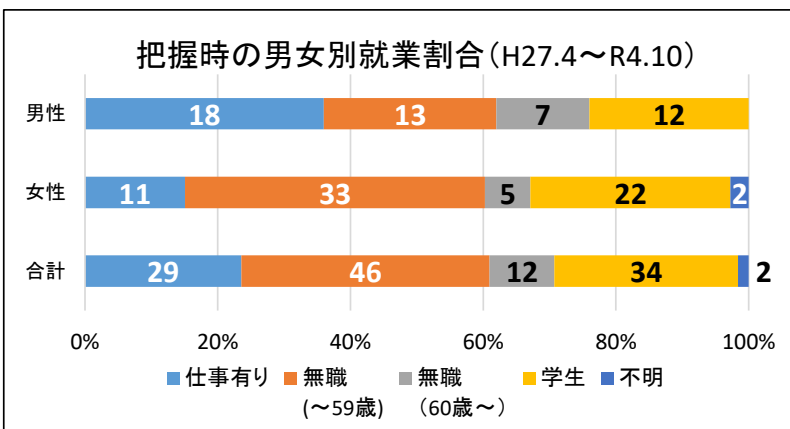
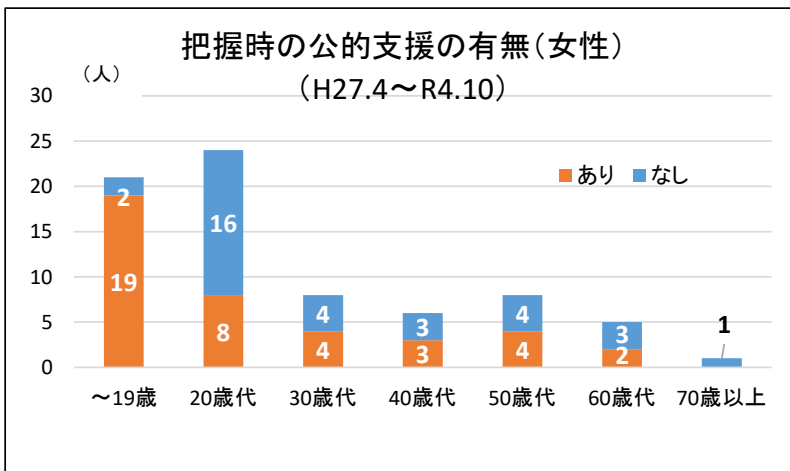
- ・ 湖南いのちサポート相談事業(草津保健所)・・・9件
- ・ 家庭児童相談室・・・2件
- ・ 草津保健所・・・2件
- ・ 健康増進課・・・1件



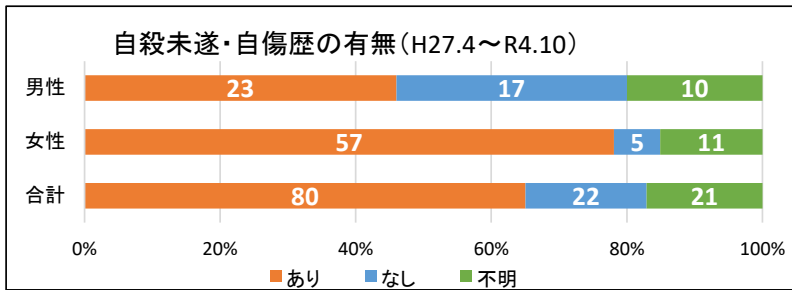
・20歳代が男女とも最大で、10代20代が全体の約半数を占めています。



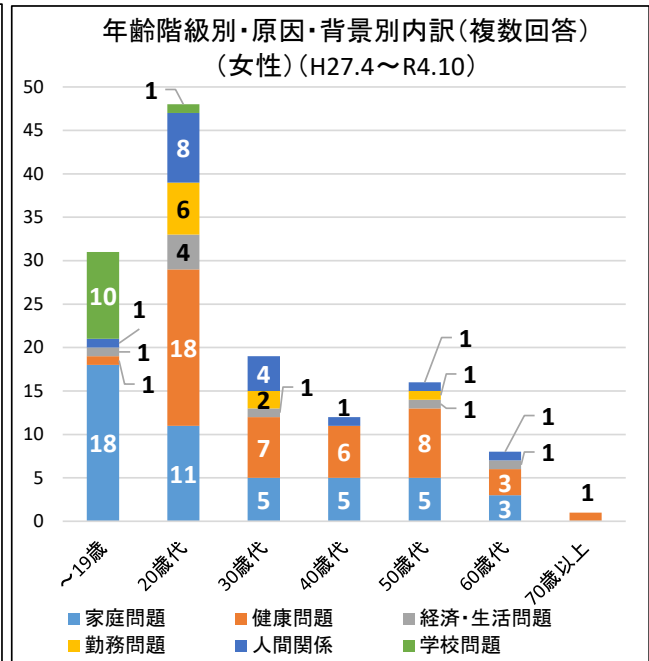
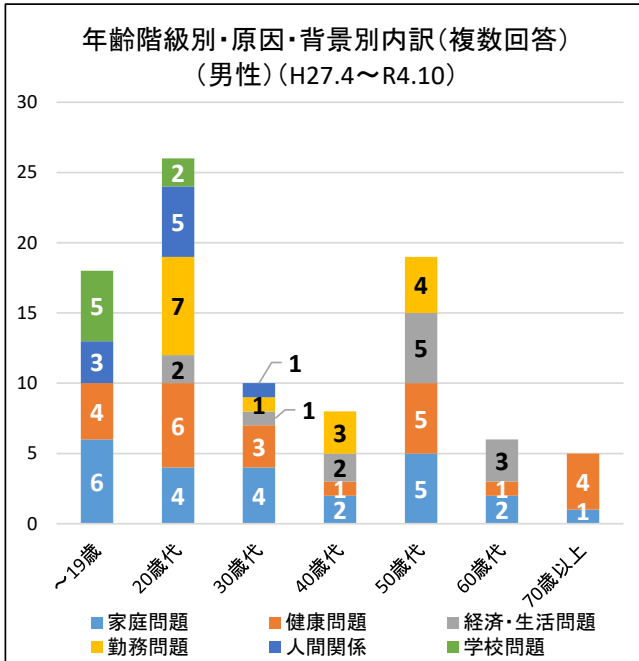
・男性の7割、女性の4.5割に支援歴がありませんでした。



・全体では59歳以下の無職者が多く、女性でその傾向が強くなっています。



・全体の約6割、特に女性では8割近くに自殺未遂や自傷行為がありました。



・男女ともに健康問題と家庭問題が多くなっています。

○家庭問題

- (こども)・両親の不和
 ・両親の離婚後、父母ともに家庭があり、居場所がない
 ・両親が無関心
 ・親からの虐待
- (成人)・幼少期の親からの虐待
 ・両親や兄弟との不和
 ・夫婦の不和
 ・パートナーからのDV
 ・離婚による孤立
- (高齢者)・子どもやその家族との不和
 ・役割の喪失

○勤務問題

- ・会社の上司からの叱責
- ・解雇
- ・就職活動の失敗
- ・長時間労働
- ・部署異動

○人間関係

- ・交際トラブル
- ・友人トラブル
- ・発達特性からの対人緊張やこだわり

○健康問題

- ・病気の悩み(うつ病、統合失調症、強迫性障害、適応障害、がん、椎間板ヘルニア、喘息、アトピー性皮膚炎)
- ・身体の悩み(脳梗塞の後遺症、味覚・嗅覚異常)
- ・発達障害
- ・性同一性障害
- ・境界性パーソナリティ障害

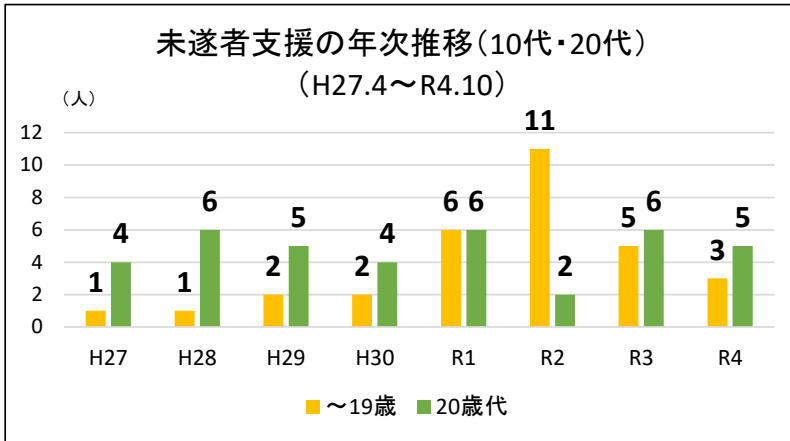
○学校問題

- ・友人関係がうまくいかない
- ・勉強、テストのストレス
- ・発達特性によりこだわりが強く集団生活になじめない
- ・SNSで友達から嫌なことを言われた

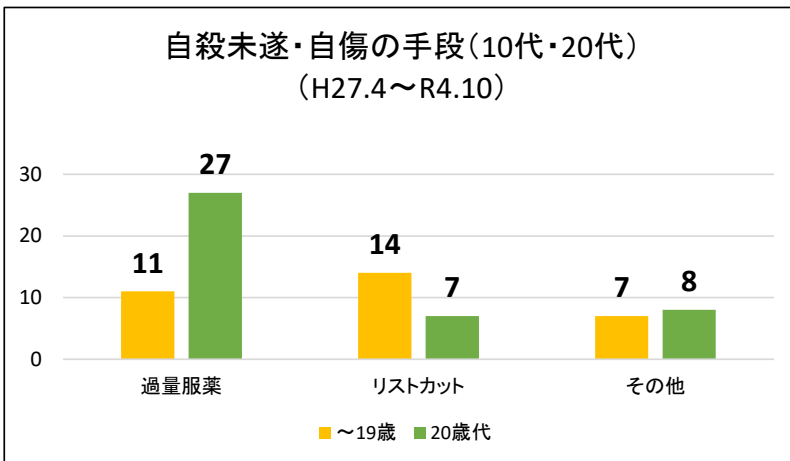
○経済・生活問題

- ・借金
- ・詐欺被害
- ・仕事が定着せず、収入がほとんどない

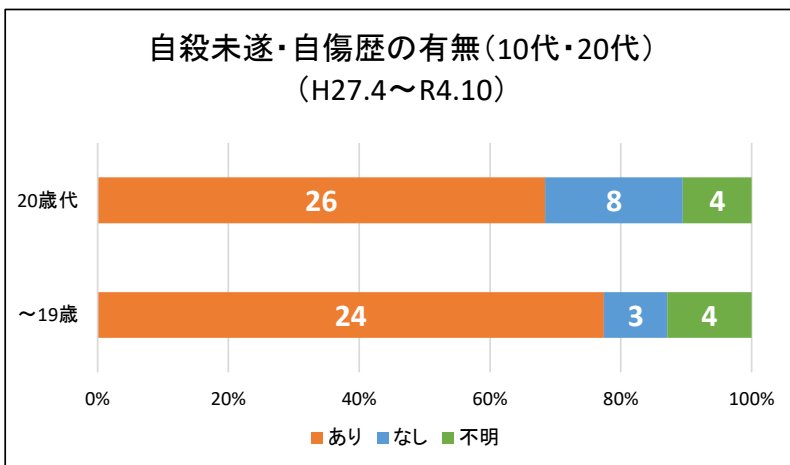
③自殺未遂者支援から把握した10代、20代の未遂者の状況



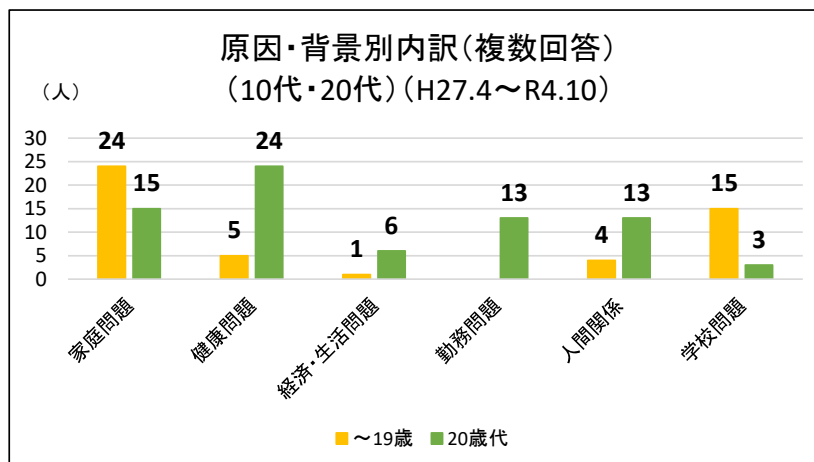
・10代の未遂者支援は、令和1年、令和2年で増えています。



・10代では過量服薬とリストカットが多く、20代では過量服薬が多くなっています。



・10代では約8割、20代では約7割に自殺未遂や自傷行為がありました。



・20代では健康問題が最も多く、10代では、家庭問題や学校問題が多くなっています。